# 釧路南ロータリークラブ会報

## 第2回 例会報告 2018.7.13 通算1731回

### ・会長・幹事懇談会



細川吉博ガバナー・亀岡会長・亀井幹事



・クラブ協議会



会長挨拶





国際ロータリー第 2500 地区 細川 吉博ガバナー



国際ロータリー第 2500 地区小野寺英夫ガバナー補佐



閉会の挨拶及び謝辞 工藤ゆかり副会長



記念撮影(亀井幹事・細川吉博ガバナー・ 小野寺英夫ガバナー補佐・亀岡会長)



## ・点 鐘

亀岡会長

## •ロータリーソング

「我らの生業」



ソングリーダー 寺口 美由紀会員

#### ・お客様と来訪ロータリアンの紹介

R I 第 2500 地区ガバナー 細川 吉博君 第 7 分区ガバナー補佐 小野寺英夫君 R I 第 2500 地区副幹事 石岡 幸雄君 R I 第 2500 地区副幹事 曽我 浩昌君 第 7 分区ガバナー補佐幹事 石井東洋彦君 第 7 分区ガバナー補佐幹事 篠原 恒也君



#### •入 会 式

新入会員 長江 孝文 (S41.2.5生) 長江建材㈱ 代表取締役社長









乾杯のご発声 福井パストガバナー補佐

#### •会 長 挨 拶



こんにちは、まずもって、この度西日本での豪雨災 害の犠牲者・被災者に対し御冥福を申し上げます。 甚大な災害に対し、ロータリーの仲間として支援に 協力して行きたいと思います。現段階での被害は死 者 200 名に、行方不明、安否不明者 60 人超になって おります。今後の災害支援に対し御協力を宜しくお 願いいたします。細川ガバナー、ようこそ釧路南口 ータリークラブへお越しいただき、心より歓迎申し 上げます。又、随行者のガバナー事務局の石岡、曽 我、両、地区副幹事おかれましてもご訪問、有難う ございます。細川ガバナーは7月10日の網走西ロー タリークラブ訪問をスタートしながら、先日、釧路 に入り、釧路ロータリークラブ様、本日、釧路南ロ ータリークラブは、今回6番目の訪問地です。そし て今晩は白糠ロータリークラブへとなっておりダブ ルヘッダーの公式訪問となっております。先ほど、 10時30分からの会長・幹事懇談会、11時00分から のクラブ協議会におきましてご講評を賜りました。 これを機会に当クラブの今後の活動の参考にさせて いただきます。細川ガバナーには大変お疲れのとこ ろとは存じますがこの後、当クラブの会員の為にご 講話をお願いいたします。釧路南RCは今年度のク ラブ方針として『南クラブ会員はロータリーの目的 を理解し、お互い協力し合い、地域に奉仕できる「心 豊かな」人を目指しましょう』と掲げさせていただ きました。私たちは、今一度、RCの目的を理解し つつ、地域における自分たちの立ち位置や、奉仕に 係るための条件とは何か、原点回帰無ければなりま せん。自分達の会社や企業がしっかり成り立った上 で、前向きな変化を求める、奉仕活動を出来ること が、大事だと考えています。共有する仲間と地域奉 仕活動を通じて、人間形成に努め「心豊かな」人を 目指すことが、ロータリーの役目だと思います。ど うかご協力お願いいたします。結びになりますが、 細川ガバナーが最後の訪問地、帯広北ロータリーク ラブ様訪問の9月21日まで、健康に留意しながら、 また、この後の地区内の公式訪問が無事、成功裏に終えることをご祈念申し上げまして、本日のガバナー公式訪問例会の会長挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

・幹 事 報 告



- \* 7/6 白糠ロータリークラブ様、7/7釧路北ローターアクトクラブ様、7/9音別ロータリークラブ様の例会へ表敬訪問して参りました。
- \* 長靴アイスホッケーサマーフェスティバル実行 委員会よりH30/8/11 に開催される大会の募集要 項および参加申込書が届いております。
- \* R I 第 2580 地区ガバナー事務所より「第 17 回ロータリー全国囲碁大会」の案内状が届いております
- \* 釧路北ローターアクトクラブ様より第 2 回例会 「組織力を高めるマネジメント講座」および懇親 会のご案内が届いております。
- \* 7/4付釧路新聞に第7分区ガバナー補佐・補佐幹事・会長・幹事表敬訪問の記事が掲載されております。
- \* 入会2年未満の会員の皆さまには会報用のマニュ アルを作成し、キャビネットへお配りしてありま すので、ご活用ください。
- \* 釧路ロータリークラブ様、釧路東ロータリークラブ様、釧路北ローターアクトクラブ様より今年度の活動計書を頂戴しております。キャビネット上に配置させて頂いておりますのでお目通しください。
- \* 次週 7 月 20 日 (金) は夜間例会のため、理事会 を例会前の 17:45 に開催いたしますので理事者の 皆さま、宜しくお願い致します。

#### •入 会 記 念 祝

和田 優会員 S 60. 7. 19 (33 年目)

### ・委員会報告 親睦委員会 澤山委員長

・本日のニコニコ献金

和田 優会員 入会記念祝として



# ・本日のプログラム「 ガバナー公式訪問例会 」

#### 担当 会長・幹事



挨拶 小野寺英夫ガバナー補佐

#### ◆ガバナー講話



国際ロータリー第2500地区細川吉博ガバナー

みなさん、こんにちはあらためまして、今日は釧路 南ロータリークラブさんにこのような形で越させ ていただきまして、本当にありがとうございます。 亀岡会長の前にある鐘は何の鐘かといいますと、ロ ータリー100年の鐘2020年が東京ロータリーが出来 まして100年目。

1920年に志をめざした日、そしてその日を 2020年を日本のロータリー100年という形でお祝いをしようということで、それによって日本のロータリー会と東京ロータリークラブが立ち合いましてこの鐘を全国 34地区につくりまして、実は今年1年間この鐘を持って歩いてそして各クラブに持って行って公式訪問例会で会長さんに点鐘していただくと、地区大会では私が点鐘させていただくと、来年は吉田年度に次期の、吉田ガバナーがこれを点鐘する。そして 2020年11月に東京で100年度イベントというのをやりますので、その時に全国 34個の鐘を集めて一度にたたくのか、順番にたたくのかはわかりませんけれどもイベントをやるという事でございますので、お願いしたいと思います。

私は今日、色々なお話をしたいと思っているのですが、ひとつにはロータリーの本質のところのお話を・・「ロータリーはなんぞや!」いうお語を簡単にお話させていただいてそして今回 バリー・ラシン会長が言わんとしていることを少しお話させていただきます。

そして、もう一つにはやはり職業奉仕についてもう一回考えなおす機会にならないのかなという風に思います。その辺の所につきましては自己紹介を含めましてお話させていただきたいというふうに思っております。私たちロータリーの活動というものは親睦と奉仕というものが車の車輪の如くロータリーしそれを中心に動いております。

私たち親睦って話になりますとこれは皆さん御存じの通り 20 世紀初頭のシカゴにおいて商業道徳の欠如しているかと、まあ商業人同士が騙し合うような形になったり、儲ければいいんだという様な時代の背景の中でお互い信頼できる公正な取引を行っていこうとそして親友関係に発展するような仲間を作ろうという、こういう考え方が集まりましてータリーというものが出来ました。当初ロータリーはこういう風な形で友達同士の付き合いという様な団体だったはずですけれども、それが段々活動していく中で奉仕というものが芽生えていきます。それは、もちろんそれまでの友情だったんですけられば、その友情のみならず人助けもしていこうという様な考えにも当然なってくるわけですよ、ロータリーの人助け、奉仕というものがあらゆる形を取り合

って自分の超えた素晴らしいことを生み出すという奉仕の考えと思います。また後で出ますけれど、たかく一人一人の力と言うのはそんなに大きなものではありません、ロータリーの奉仕の考え方と言うのはたくさんあり、私たち1人1人が奉仕をするという考え方です。自分1人1人の力が手を取りあう事によってそれを合わせる事に、それはクラブ会員であったり地区会員であったりフリー会員であったりそういうレベルでの奉仕のみんなの手を取り合う事が大きなことに繋がっていくという事だと思います。そういった意味でロータリーの奉仕いうものは、たとえば一人の人生、地域社会を変えていくものという風に考えても過言ではないという様に私は思っています。

ただそういったロータリーではございますけれども、ロータリーの中でも色々な問題点があると思います。それはロータリーをよく知られてはいないという現実があるという事です。

それは今日先ほどクラブ協議会の中でも上を指摘されておりましたけれども、やはり私たちロータリーは地域社会の中で本当に理解してもらってるんだろうかという事を今一度みんなで考えていけるのかなという風に思っております、もしかしたら地域社会でなかなかロータリーというのはアピールするのがそんなに上手ではないと、自分たちの中だけでまとまってやっていくという様な奉仕活動も含めてロータリーの活動自体が自分たちの中で完結しているところももしかしたらあるかもしれない。地域社会の中でロータリーって名前を聞いてるけども何をやってるかよくわからないというのが半分以上だと思います。

中にはロータリーっていう名前自体も聞いたこと が無い まあロータリーって言ったらライオンズで しょうかって様な形の意見を言う人もいるのも本 当に現実だと思います。そういった意味で地域社会 からよく知られていない現実があります。そして実 はこれも1つ大きな問題でクラブメンバーが新入会 員からロータリーをよくわかられていないという 様な事も現実にあるんでないかと、新入会員にとっ てみれば、もしかしたらロータリーの良さ、ロータ リーの素晴らしさ、ロータリーの奥の深さが分から ないうちに、まあやっぱりこんな、こういう事が私 は出来ませんとかこういう時間は何かもったいな いからできないとか言われる様な中でロータリー の良さが分からないうちに辞めていってしまって いるロータリーのメンバーっているということも、 もしかしたら事実なのかもしれません。

まあそういった意味で来年度に向けましては地区

によって研修委員会とか地域研修もまたそれに合わせてクラブにおいてもロータリーの研修委員会を作って頂いてロータリーをクラブの中でもっとまずメンバーから広めていっていただくという事も来年に向けて進ようとしております。

今言った様にロータリーっていうのをやはり社会 に対してアピールする必要があると私たちが何を やっているのかという事をもっともっとアピール する、まあ先ほども本当にそういう風にマスコミを 使うとかいろんなご意見がありました、それはイコ ール公共イメージの向上の必要性があるという事 であります。私たちのやっていることを多くのロー タリアン以外の人にもやはりきちんと理解をして いただいて、そしてロータリーの活動を見守っても らう、ロータリーの活動に感心してもらう事から更 なるロータリーの活動に一緒に活動していこうと いうとメンバーがそろったら集まってくる可能性 も大きいという風に思っております。ただじゃあ現 実のロータリーってどうなんだろうって話しにな ってきますと、たとえばロータリーの活動つづける 為にたとえば人がいないよ、少ないよという様な問 題もあろうかと思います。まあ人数が、じゃ何人い ればとか 100 人いればいいのか 50 人入ればいいの かと話ではありません。ただやはり少しでも多くの 仲間がその私たちの活動に参加してくれて理解し ていただくという事が必要だと思いますし、今この 世の中だんだん人口が減ってくる時代の中でロー タリーの数だけどんどん増えるという事は現実的 にありません。でも そういった中で私たちの人材 をどういう風にきちんと確保って言ったらおかし いですけれども、メンバーを繋いでいくのかという のが大切だと思うのですが、先ほどお話を聞きまし たように当釧路南ロータリークラブさんは昨年度 は退会者0という事で大変すばらしい事だと思いま すし、そういった意味での今いる人たちも辞めさせ ないという努力も必要だという風に思います。人が 少ないという事はもしかしたらそこからくる資金 の問題、まあ何かをやろうとしても資金不足という 事も現実としてあるかも知れない。そしてもう一つ、 これは私のあれですけれども人が少ないという事 は人と人との出会いの機会も少ない、もしかしたら 出会いする人と人の出会いによってもっと大きな 仕事とかもっと大きな企画 プロジェクトもやって いける事も出来るという事もあります。あとこれは よく言われますけど会員の高年齢化という問題も あります、私は会員の高年齢化が悪いというわけで は全然ありませんで、逆にロータリーの経験の深い やはりロータリーのベテランの方がこのクラブに

とって入っていただく必要もあります。

ただ、それだけになってしまうとやはりこれは色々とロータリーの中でも問題があります。

ぜひ、若い人を入れていただいていこうと!当クラブは 30 代から入ってらっしゃいますけれど他のクラブにおいても高年齢化だけではなくて若い人とのバランスをとって、若い人もはいってもらう、

ぜひ、皆さんと一緒に考えていきたいという風に思っております。そしてプログラムのマンネリ化もあるんではないのかなという風に思います、なかなか新しいプログラムに踏み出してやっていけない

まぁ それはもしかしたらロータリーが会長・幹事という事が1年ごとの交代とかそういう問題があるかもしれないし、なかなかそういった中でチャレンジすって事は出来ない事もあるかも知れません。

でも、どこかで毎年、やっぱり社会的なニーズをき ちんと把握しながらプログラムを変えてく必要が あるのかなと、そう言った意味ではまだまだマンネ リ化しているって事があるのかもしれないと思い ます。

さてこういう事を言うと何かちょっとすごくロー タリーってマイナスの様な感じがしますけども実 はそうは言ってもロータリーっていうのは地域の 中では良い事をしている、良い事をしている団体で あるという事を私たちはまず思って自信をもって 誇りをもってやはりロータリーに対して認識して いくっていう風に、ロータリー一概にも大きく言い ますけども国際ロータリー将来っていう物を実は 私たちのクラブの将来でもある、私たちクラブの将 来が国際ロータリーの地盤という風にぜひ感じさ せていただきたいと思います。そしてロータリーで 自分の役割っていうものは、例えばわたしはこのク ラブの1人のメンバーですよって言っていても、そ れは世界におけるロータリーの役割でもあるのか なという風に世界におけるロータリアンとしての 一人の役割という風に思っております。そういった 意味で私たちはよくロータリーで出ますけど世界 を変える行動人 People of action という形でよく 表現されます。

これは決してロータリーというのはこの言葉になるのはたとえばビルゲイツみたいに世界の大富豪百とか、世界の何とか企業の経営者ベスト百とか言っている事を世界を変える行動人って言っているわけではありません、これは私たち自身 たとえば今自分がおかれてるこのクラブでの中での立場とかクラブの中での意見 行動すべてがロータリーを変える世界を変えていく初めになっているという事なんだと思ってます。 つまり私はよく言ってい

る、大きな海の中に一滴の水を垂らして、その一滴 の水が大きな水の中で小さな輪を作ったとしたと して それは単なる小さな輪かもしれませんけれど もその輪が 10 個 100 個 1 万個と集まっていくこと によって大きな波になって大きなうねりとなって いくという風に思っております。 それには私たち 今ここにいる一人一人がなんらかの行動を起こす という事がとても大切な事だと思っております、ロ ータリーはこのようにポリオプラスとか地区補助 金またグローバル補助金などをつかって財団の役 割として大きな働きもしております。 また青少年 奉仕ロータリーはとくに青少年を育成するという 中でインターアクト、ローターアクト、ライラとか 青少年交換といったような青少年を育成する事も やっております、それらがロータリーとしてのプロ グラムとしての素晴らしさだという風に思ってお ります。とくにこの中でお話したいのはローターア クトは世界で大体 50 年目を迎えております。世界 で大体 1 万のクラブがありまして 25 万人のロータ ーアクトの会員がいると言われております、今年の バリー・ラシン会長はローターアクターを倍にしよ うという様な事で25万人を50万人にという様なお 話をされております。そして昨年から何ですけれど もローターアクターをロータリアンとして2重身分 をもてるという様な形にロータリーアナライズで 規定してきております、それはどういう事になるか と言ったらローターアクターの今度もし倍になれ ば 50 万人だと、今ロータリーアンは 120 万人おり ますから170万人のロータリアンという形になって くるという事はちょっと考えを悪く言えばって言 ったらあれなんですけども現在120万人分の人頭金 が 170 万人分になるのかと、つまりお金だけの問題 なのかという話にも考えられます。まあ決してそれ は否定できない事なのかもしれませんけれども、た だ私はローターアクターと増やしていくという1つ の考え方の中にはここで挙げたようにローターア クト インターアクトを含めてやはりこれはロータ リーの奉仕の精神、親睦の精神を持ち寄った若者の 団体だという風に思っております。まあ彼らが自分 たちのロータリーの精神を持って活動することは 将来のロータリアン 本当の意味での今いうロータ リー二重身分ではなくロータリアンを育てていく という意味でも大変大切な一つの若者から始まる ロータリーの精神の源流だと思っておりますので、 是非皆様方にもその青少年と共にローターアクト や まあ釧路ではインターアクトもやっておられま すけども、その辺のご理解いただいて増強していた だければという風に思います。今言ったいろんな問

題点に対して何とかしてこれを変えていかなくち ゃいけない、改善していかなくちゃいけないという 事がどうしても私たちに直面していきます。その時 私たちはどういう気持ちをもってこれに対して対 応していくのかいう事になりますと、常にやはり前 向きな変化を求めて対応していく必要があると思 います。そういった意味では直面する課題に対して 勇気と希望そして創造性を持って正面から立ち向 かっていく必要があるという風に思っております。 問題点を決して逃げる事無くそれを正面からキチ ンと対応していく必要性、それがあってそれこそが 私はバリー・ラシン会長が言っているインスピレー ションと思います、その情熱こそが私たちの求めら れているインスピレーションだとインスパイヤー というのは、こういうインスピレーションと言葉も ありますし、それをいろんな英語で表現する人たち もおりますし 一般的にインスピレーションと言い ますと思いつきと言う様な言葉で言われておりま すが、ここでいうインスピレーションは私たちが何 かを変えようとする情熱、それ自体がインスピレー ションという風にぜひお考えいただければという 風に思います。「BE THE INSPIRATION」インスピレ ーションになろうという気持ちで今年1年是非ロー タリー活動をしていただければという風に思いま す、そういった中で私は行動するロータリーつなが るロータリー ロータリーの未来を考えようという テーマで今年1年活動していきたいと思っておりま すので、ロータリアンは理論家でもありません、評 論家でもありませんので やはり考えたことをみん なで力を合わせて行動する、一人一人が合わさった 事によって行動するという事がまずロータリアン に求められる、そして先ほども言いましたが1人1 人の力は決して大きくない、でも大きくない力でも みんなで合わせればそこの所には大きなうねりを 作ってさっきも言ったような世界を変える行動人 となりうるんではないかなと、そういった意味では みんなで繋がっていこう、繋がるロータリーそして それこそがこれからのロータリーの未来を考えて いくのでは無いのかなという風に思っております。 そういった中でいろいろとロータリーの中での今 年のテーマをまた出させていただきました、

モニターに出してはおりますけれども 一つ 4 番目の所にあるロータリー賞というものがあります、是非これを各クラブで目指していただきたいという風に思います。 ロータリー賞は多分皆さん PETSとか 何かの時に会長・幹事さんには確かお渡ししているとは思うんですけど、実は・・この次でお話をさせていただきますが、それともう一つ地区内新

クラブ設立の奨励がというのがあります、先ほど言いましたようにクラブのロータリアンの人口が減って来てる地域の人口も減ってる中で新クラブを作るとは何事ぞという風に形で考えておられる方もいらっしゃるとは思います、ただ私たち自分たちの地域の中で思っていることは、ローターアクターの OB を集めてですね、衛星クラブを作ってのロータリーの新クラブというのも可能性もあるのかなというふうに思っております。

ロータリー賞前のロータリー会長賞でございますけどもこれを目指すためにも是非マイロータリーへの加入、クラブにとって7割以上のマイロータリーの加入が必要であります、マイロータリーに入ることによってそれから行きますと、たとえば今言ったロータリー賞の内容とかたとえば会員拡大による増加とか、女性会員を一名入れるとかいろいろあります。 それを是非自分たちクラブの礎にしていただいておよびチャレンジしていっていただけるというふうに思っております。

「職業奉仕」についてちょっとお話をさせていただきます。

私は整形外科の医者をやっておりまして、自分は帯 広の隣の幕別というとこの出身です。

当初 100 人ぐらいのメンバーで始めた病院だったのですが、今は 800 人以上のスタッフでやっております。

まあ、そういった意味でやはり仕事に対して自分のポリシーを持ってったらおかしいですけど私はここにいる人たちが幸せになってもらいたいという様な思いでやってまいったつもりであります。

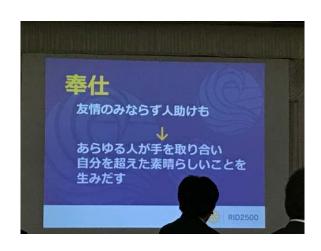
そういった意味で私たちが奉仕というものを抱え るときに奉仕の理念というものはこれは何かって 言ったらあなたの喜びの話しになる、あなたの幸せ が欲しい、相手の幸せ・相手の喜びを自分の喜びに 幸せとして感じられるかという事が奉仕だという ふうに思っております。ロータリーの綱領の中でロ ータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕 の理念を奨励し、これを育むことにある 奉仕の理 念を奨励しという意義ある事業とはこれは何なの か、やはり有益な事業である私たちはロータリーの 中で職業倫理という向上に努め、倫理というものは 法令巡視のみならずそこに道徳があるという事で す。守ればいいんだと何でもいいと法律は違反して いないよという事はけっしてこれは倫理ではなく、 倫理ではなくてここにプラスして道徳というもの も必要だという事でございます。

そう言った意味でハーバート J. テーラーが言っているような4つのテストも職業の中で十分にこれを

意識しながら、これを確かめ合いながらやっていく 必要があるというふうに思っております。 そういった意味で職業奉仕とは職業サービスを念頭に相 手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自 分の喜びとしながら、職業人としてのより高い倫理 の向上に努め、世の中に広めていくこと、倫理の向 上に努めて広めていくこと自体が私たちロータリ ーでいう職業奉仕だというふうに思っております。 自分の職業をやっていることが職業奉仕ではなく て、そこに自分の仕事の中に道徳がをきちんと加え ているかという事が大切だと思います。

今R1はそこの職業奉仕をなくそうという方向で動いてきておりますが、私たち日本のロータリーとしてはやはりこれこそが私たちが目指しているロータリー活動の根本だというふうに思っております。

R I がどういうふうな方向であってでも私たち日本のロータリーは是非これをロータリアンとしての心に刻みながらこれからも活動していければ良いなというふうに思っております。



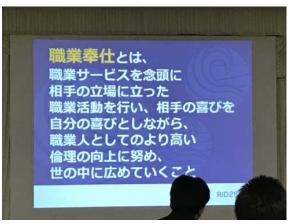
















バナー交換 亀岡会長・細川吉博ガバナー

## 迎 細川 音博ガバナー公



記念撮影



記念撮影



100 周年記念鐘



## ・次回のプログラム

7月20日(金)

「出航式・優秀出席者表彰 」 夜間例会 会場 アクア・ベール 18:30~

担当:親睦活動委員会

・点鐘角岡会長今週の会報担当:佐久間光弘会員